

## 1 身を守る

- 机の下などに入って体を守る
- 火の始末
- 窓や戸を開け出口の確保



## 2 あわてず

- 家族の安全を確保
- 非常用持出品の確認
- テレビ、ラジオから情報を集める



### ●火災が発生したら

協力して初期消火

火災が延焼拡大したら安全な場所（広域避難場所など）へ避難

## 3 避難を開始

- ガスの元栓を閉め電気のブレーカーを切る
- 非常用持出品を持って徒歩で避難
- 近所にも声をかけて安否確認、避難支援

**津波や土砂災害の危険が予測される地域はただちに安全な場所へ！**

## 4 安全確保

- 津波警報等が発表された場合は、海から離れ、津波一時退避場所、高台など、可能な限り安全な場所へ避難

※津波一時退避場所とは、右標識のある公共施設や市と協定を締結したマンションなど



茅ヶ崎市 津波一時退避場所

検索

津波警報等が発表されている間は、避難を続けましょう

## 5 避難生活

- 避難所は、自宅が被災した場合に災害の危険がなくなつてから一時的に避難生活を送る場所です。

※避難所は津波一時退避場所を兼ねています

### ●自宅が被災し、避難所生活になったら

避難所のルールを守ろう

避難行動要支援者に心づかい

**自宅での避難生活が可能な場合は、在宅避難を！**

- 7日分以上を目標に食料などを備蓄しよう

## 〔避難所生活判断2ステップ〕

不安に感じたり危険と判断したら避難所などへ

判断① 危険を見極める

### 判断ポイント

- 自宅の家屋に被害があるか？  
倒壊のおそれがあるか？
- 隣家の倒壊などで自宅に影響はあるか？  
火災・津波・液状化などの二次被害の心配はあるか？

危険なければ判断②へ

判断② 生活できるか確認

自宅での生活ができなければ避難所などへ

### 判断ポイント

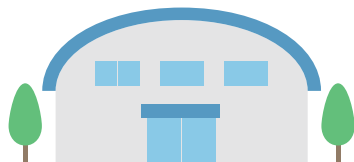
- 他人のサポートがなければ暮らしていけないか？

生活ができれば自宅にとどまる

避難所など



在宅避難





それぞれの**警戒レベル**に相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。  
市町村からの**避難指示等の発令に留意**するとともに、避難指示等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。  
警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル3や4の段階で避難することが重要**です。

## 風水害

| 警戒<br>レベル        | 住民がとるべき行動                                                                         | 市町村の情報                          | 警戒レベルに相当する<br>気象庁等の情報                 |             |               |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|-------------|---------------|
|                  |                                                                                   |                                 | 警報等                                   | キキクル        | 指定河川<br>洪水予報  |
| 5                | <b>命の危険<br/>直ちに安全確保！</b><br>・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。        | <b>緊急安全確保</b><br>※必ず発令される情報ではない | <b>大雨<br/>特別警報</b>                    | <b>災害切迫</b> | <b>氾濫発生情報</b> |
| <警戒レベル4までに必ず避難！> |                                                                                   |                                 |                                       |             |               |
| 4                | <b>危険な場所から<br/>全員避難</b><br>・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。               | <b>避難指示</b>                     | <b>土砂災害<br/>警戒情報</b>                  | <b>危険</b>   | <b>氾濫危険情報</b> |
| 3                | <b>危険な場所から<br/>高齢者等は避難</b><br>・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。 | <b>高齢者等避難</b>                   | <b>大雨警報※<br/>洪水警報</b>                 | <b>警戒</b>   | <b>氾濫警戒情報</b> |
| 2                | <b>自らの<br/>避難行動を確認</b><br>・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。     |                                 | <b>大雨注意報<br/>洪水注意報</b>                | <b>注意</b>   | <b>氾濫注意情報</b> |
| 1                | <b>災害への心構えを<br/>高める</b>                                                           |                                 | <b>早期<br/>注意情報<br/>(警報級の<br/>可能性)</b> |             |               |

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等避難(警戒レベル3)に相当します。



\* 防災気象情報と警戒レベルの対応の詳細については、ホームページをご覧ください。  
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html>



Japan Meteorological Agency

〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9  
TEL: 03-6758-3900 (代表)  
FAX: 03-3434-9085 (耳が不自由な方向け)  
ホームページ <https://www.jma.go.jp/>

令和4年6月